



+らiふ ニュース 平成30年度 冬号



(編集・発行)平成31年2月発行
相談支援事業所 宮城野雲母倶楽部+らiふ
〒983-0012 仙台市宮城野区出花1丁目3-11
TEL/FAX : 022-254-6757
HP : <http://kilala.biz/>
編集責任者 秋保 明

平成30年度 宮城野区障害者自立支援協議会 実務者ネットワーク会議全体会 ～見えない障害をお持ちの方が暮らしやすい地域へ～

平成30年12月6日に「平成30年度 宮城野区障害者自立支援協議会（以下、宮城野区自立協）実務者ネットワーク会議全体会」を開催しました。宮城野区自立協では『障害のある人もない人もその人らしく生活できる地域づくり』を目指し活動を行っております。今回は「目に見えない障害」に対する理解促進を目的に「てんかん」「高次脳機能障害」「発達障害」「難病」について、話題提供・シンポジウムを行いました。

登壇者の方々からそれぞれの障害について話していただいた内容を抜粋してご紹介します。



てんかん

公益社団法人 日本てんかん協会宮城県支部 萩原せつ子氏

- 繰り返して発作が起きる 脳の慢性的な病気
- 誰でも(どの年でも)発症する病気
- 服薬でコントロールできる ○遺伝病ではない
- 発作はさまざま
けいれん、体がピクツとなる、胸がむかむかする、頭がボーッとする など…
- 発作が起きたら慌てず近くで見守ってほしい
けいれん発作が5分以上続く場合は救急車を呼ぶ必要あり
歩き回るなど動きのある発作は抑え込まずに危ない物をよける等のサポートを

高次脳機能障害

NPO 法人ビートスイッチ 日下真由美氏

- 高い次元の脳の機能の障害
低次元の脳機能…食べる・眠る(本能的なもの)
高次元の脳機能…考える・工夫する・思い出す・見通しを立てる(人間ならではのもの)
- 脳のどこを損傷したのかで症状の出方は人それぞれ
- 情報の処理に時間がかかる 頭は常にフル回転
- 伝えたことに対して隙間を埋めてくれるような内容を掘り下げた質問や関心を向けてくれる質問があると助かる
(思考がまとまりづらい・言葉が出にくい)

発達障害

NPO 法人自閉症ピアリンクセンターここねっと
当事者の方・西田有吾氏(支援者)

- 生まれもった特性
言葉通り受け取りやすい 暗黙のルール・言葉の裏にある意図をくみ取ることが苦手
相手の感情を察しにくい
- 苦手なことを感情的・否定的に伝えずに、肯定的に伝えてほしい
- 時間はかかるが、少しずつ積みかさなりできるようになる

難病

宮城県難病相談支援センター 大内純子氏

- H30.4.現在指定難病(医療費助成の対象)の数は 331 疾病
- 疾病数は多く、難病のある人といっても状態は一人ひとり異なる
- 症状に変化があり、ストレス・疲労によって症状が悪化する場合があります
- 生活のしづらさを抱えていても周囲の人と同じことを求められる
- 症状が見えづらいと周囲からの理解がなかなか得られない

目に見えない障害のある人をサポートしたいといっても、どのような障害なのかを理解していないと難しいように感じます。今回の講話等を通して、参加者の皆様には「目に見えない障害」について知るきっかけとなったのではないのでしょうか。「その人に合ったちょっとした「気遣い」や「心配り」があると日々の生活がしやすくなる」ということが共通していることのように感じました。障害の症状や特性はその人一人ひとりで異なり多種多様であるため、まずは「自分のことを知ってもらう・相手のことをよく知る」というお互いの歩み寄りが大切であることを学ぶことができました。



クリスマス会



今年もクリスマス会を開催しました！
浦山郁夫さんにお越しいただき、
マジックを披露してくださいました！
見ている方が参加する場面もあり、
拍手や笑い声が多く聞かれ、皆さん
とても楽しんでいました！

食事を楽しみながらビンゴゲームを
行いました！今年も豪華景品があり
当たった方は喜んでくださいました！
食事をしながらお話しをしたり
とても楽しい時間でした！



ご参加いただき

ありがとうございました！

投稿コーナー

このコーナーでは利用者の皆様
のお声を載せていきます！

ペンネーム・そらさんの体験談から見えないつらさや不便さ、だれにでも起こり得ることであること、どのように乗り越え今の自分がいるのかを伝えていきます。

【 区別される病気 】 そらさん No.6

知人の入院先に行くのと私の入院していた所とは随分違うなど感じます。知人の入院先では、まず窓に柵がなく手洗いも男女別で清潔です。患者が掃除する事はありません。ベッドの周りにはイスとカーテンがあり着替えに困りません。患者が外界から隔てられていない気がすると、自信をなんとなく無くするような雰囲気もなく見舞客も来ます。強制的に全員が口を開けさせられて眠剤を飲む場面もなさそう。加えて私は医師から人生失敗だとか言われたりと入院はトラウマになり、人間の尊厳について考えさせられた体験でした。一部の病院の事ですが心を病んだ患者は人扱いされていない感じで残念です。



【相談業務変更のお知らせ】

平成31年1月より、所内会議のため下記の時間の相談業務を変更いたします。

○毎月第2木曜日 13時～15時

相談業務(電話相談含む)はお休みとさせていただきます。

サロンは通常通り開所しております。

○毎月第4金曜日 15時～18時

相談業務(電話相談含む)及びサロンはお休みとさせていただきます。